

コロナ禍のこどもたちの世界

～危機を乗り越えるために私たちができること～

令和2年11月14日（土曜） 於：豊島区役所1階「としまセンタースクエア」



講演会が行われた「としまセンタースクエア」。各地区の育成委員たちがたくさん聴講に訪れました。

教育ジャーナリストの石川結貴さんを迎え、昨秋、題記をテーマとした講演会が開催されました。

コロナの影響で長期間の休校や自粛生活が強いられている子供たちはいま、勉強や進路に不安を感じ、目標を見失い、加えて部活動の休止や友達と直接遊べないことなどから不安定な心とともに、大きなストレスを抱えています。

そんなストレスから、SNS やゲーム利用が常態化している子供が増え、そこからさらにトラブルに発展していくケースも増えているといえます。

こうした状況下、私たちが子供たちのためにできること――。

それは、大人がほんのちよつとでも力を使って実現できる、社会資源をうまく利用した「子供の身近な居場所づくり」だったり、無料オンライン塾での学習や国際交流サイトでの語学習得

など、「希望につながり、可能性を広げる情報提供」だったり、同じ“生きづらさ”を抱える同世代が「支え合いながら交流ができる環境づくり」だったり、子供の主体性を尊重しつつ物資や場所を提供するといった側面サポートはじめ、大人が人生経験を語ることで困難を乗り越える知恵や工夫へのアドバイスとなる「子供を支える大人の力の提供」だったりなのだとか。

石川さんは、お好きな詩の紹介とともに講演の中でこう伝えてくれました。それは……あとから続いてくる、未来を受け継ぐ子供たちのために、私たちはそれぞれ「自分でできる何か」をする……ことの大切さ。

私たち第8育成委員も、子供たちの未来のために、微力ながら「何か」を提供していけるよう、今後も活動を続けていきます。

◎ジャーナリスト
石川結貴さん
Yuki Ishikawa



家族・教育問題、青少年のインターネット利用、児童虐待などをテーマにした豊富な取材実績と現場感覚をもとに、数多くの著作はじめ、専門家コメンテーターとしてメディア出演や全国各地での講演会など、幅広く活動。

◎石川結貴さんホームページ
<https://ishikawa-yuki.com>



育成委員研修 「トキワ荘マンガミュージアム」訪問

令和2年9月12日（日曜）

手塚治虫、赤塚不二夫、石ノ森章太郎、藤子・F・不二雄、藤子不二雄△ほか、かつて現代マンガの巨匠たちが住み集い、ここから数々の名作が生み出されたという伝説のアパート「トキワ荘」。この「マンガの聖地」であるトキワ荘が、当時の面影そのままに再現建築され、昨年3月に「豊島区立トキワ荘マンガミュージアム」として竣工しました。コロナ禍によりオープン時期の延期があったものの、昨秋、育成委員の有志9名でこのミュージアムを訪れ、懐かしいタイムスリップを体験してきました。今も息づく巨匠たちの仕事や暮らしぶり。貴重な文化発祥地としての誇りと財産を、次世代にもたくさん伝えて行けたら……そんな思いのするひとときでした。

* コロナウイルス感染拡大防止のため、当面は予約優先の入館制限あり（詳しくは QR コード先をご参照ください）



外観だけでなく、玄関や階段、2階の各マンガ家たちの部屋や共同炊事場など、当時の様子が忠実に再現されている「トキワ荘マンガミュージアム」。